



特集

戦争の記憶を
語り継ぐために



鹿屋の地で育まれた
名品・名産・名所などの
よかもんを紹介

農作物の生産から「乾燥野菜」の加工・販売・流通までを行う農業生産法人株式会社オキスは平成18年7月の創業で、今年、丸10年の節目を迎えました。今や6次産業化の成功例として注目を集めている企業です。

今回は代表取締役の岡本孝志さんに案内いただきました。

「もともとは運送業をしていたのですが、鹿屋は野菜の一大産地にもかかわらず、一大消費地である関東などに野菜を運ぶとなると、物流負担が大きいこと

とがネックになっていました。そこで、大隅の豊富な農作物で動脈物流を作れないかと、ひらめいたのが『乾燥野菜』でした。

大根は95%が水分。水分を飛ばしてしまえば、運送するトラック20台が1台で済みます。また、通常規格外とされる物でも、カットして乾燥すれば規格品になります。農家の皆さんが作った物は、無駄なくすべて商品化できます。

このような環境に配慮した視点から商品開発を重ね、今では国内だけでなく、海外にも商品を並べていただけるまでの企業

に成長することができました。現在、自社及び協力農家を合わせて約200haの農園で大根やごぼうなどの野菜を収穫し、『乾燥野菜』をはじめ、茶、菓子等に加工し販売しています。『乾燥野菜』は調味料をほとんど使わず素材に近い味わいで、健康食品としても人気です。



昨年、鹿児島中央駅前のかごつまふるさと屋台村にアンテナショップを出店しました。これは大隅半島に行けばもっと面白い所があるということを発信する役割も持たせています。『大地の物をすべて活かし、それをエネルギーに変えて郷土を元気にする』ことが企業理念であり、企業としての責務。今後も積極的な発信により、大隅地域のブランドを向上させたいと思っています。それが最終的には大隅を元気にし、人が集まるような地域になると信じています。」

大人の社会見学

鹿屋の地で育まれた
名品・名産・名所などの
よかもんを紹介

農業生産法人 株式会社オキス



下高隈町5455-6
☎0994-45-2508



農業生産法人
株式会社オキス 代表取締役
岡本孝志さん

ひと・まち・産業が躍動する「健康・交流都市 かのや」

広報かのや Kanoya

KANOYA CITY PUBLIC RELATIONS

8 August 2016 No.255



目次 contents

- 03 大人の社会見学
農業生産法人 株式会社オキス
- 04 特集
戦争の記憶を語り継ぐために
- 08 街フォトスクラップ
- 12 鹿屋の名木
- 16 「かのや農援隊」隊員を募集
- 18 ふるさとかのやを応援してください！
- 20 情報掲示板
- 24 ACTIVEシニアライフ!!
- 25 市民のひろば
- 26 Close Up、
地域おこし協力隊かのや活動レポート
- 27 明日への扉
みやうち みほ
宮内 美歩 さん



今月のカバー

ひまわりと高隈山

串良町で撮影したひまわり。ひまわりは太陽の動きを追うように花が回る特徴から名付けられたそうです。現在霧島ヶ丘公園では2万本のひまわりが見頃を迎えており、今月15日から花が無くなるまで、切り花体験を行います。

統計情報

平成28年7月1日現在(前月比)

- ・人口 / 103,135人 (-20)
- ・男性 / 49,231人 (-8)
- ・女性 / 53,904人 (-12)
- ・世帯 / 45,069世帯 (-11)
- ・面積 / 448.33km²

市の花 ばら

祭り

花を多く付ける品種で、3～6輪が房になって咲く。低いフェンスや鉢での「あんどん仕立て」などに適しており、春から晩秋までよく開花します。



鹿屋市広報

- 鹿屋市ホームページ
<http://www.e-kanoya.net/>
- 鹿屋市公式 facebook
<https://www.facebook.com/Kanoya.City>
- 鹿屋市ラジオ広報番組
FMかのや(77.2MHz)
(月～金曜日、8:05～と16:05～)



Rena Theater 映画情報 殿、利息でござる！



金欠の仙台藩は百姓や町人へ容赦なく重税を課し、破産と夜逃げが相次いでいた。さびれ果てた小さな宿場町・吉岡宿で、町の将来を心配する十三郎と知患者の篤平治がとった秘策とは？「知恵」と「勇氣」と「我慢」の銭戦が今、始まる！

◎上映時間 (129分)
①10時～ ②13時～ ③16時～ ④19時～

◎鑑賞料
一般 / 1,800円 大学生 / 1,500円
高校生以下 / 1,000円 60歳以上 / 1,000円

問 リナシティかのや ☎0994-35-1001

※特別割引券は、1枚につきお一人限りです。また他の割引券との併用はできません。



特別割引券
殿、利息でござる！
割引券をお持ちの方は200円(60歳以上を含む)を割引します。

戦争の記憶を語り継ぐために



- ❶市内の戦跡を巡る「親子戦跡めぐりバスツアー」
- ❷貴重な証言や資料を展示した「戦後70年特別企画展」
- ❸修学旅行生へのガイド案内
- ❹九州管内の小中高校生の平和へのメッセージを募集する「平和の花束」
- ❺整備を行った「海軍航空隊笠野原基地跡の川東掩体壕(上)」と「海軍航空隊串良基地跡の地下壕第一電信室(下)」



節目の戦後70年を迎えた昨年は、全国的に戦争に関する様々な催しが行われたほか、テレビや新聞で特集が組まれるなど、戦争について改めて考える一年となりました。

市でも、昨年は特別企画展や戦跡ツアーなどを実施したほか、市民の皆さんから、戦争に関する証言や当時の資料の収集を行いました。

今号では、集まった証言や資料、市内に残る戦争遺跡などを、後世に語り継いでいくために、行っている取り組みについて紹介します。

新たに分かった戦跡を調査



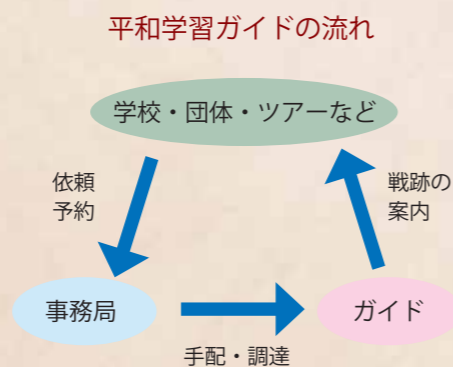
新たに分かった発電所跡の入口

市では認定ガイドの研修会を毎月実施しています。

7月には新たに存在が分かった発電所跡の調査活動を行いました。この発電所跡は、串良基地の各施設に電気を供給していたと考えられており、爆撃による被害を抑えるためコンクリートで頑丈に作られています。

市内には知られざる戦跡がまだまだ残っています。

※発電所跡は私有地のため、見学等はできません。



説明が無いと価値が分からず、来訪者にとって十分な環境とは言えませんでした。

そこで、鹿屋で実際に起こった史実から戦争の悲惨さや平和の尊さを様々な人に伝えることを目的に、昨年4月「鹿屋平和学習ガイド」と「戦争遺跡調査員」を初めて認定しました。

「平和学習ガイド」は旅行者や学校、市内の団体などに戦跡を案内し平和学習の機会を提供する役割を担い、「戦争遺跡調査員」は戦争体験者の証言の記録や戦跡、戦史の調査などを行います。

昨年度は4,000人以上にガイド案内を行ったほか、戦争体験者約80人の聞き取りを実施しました。これからもその活動を広げ続けていきます。

戦時中市内には、3つの海軍の基地があり、今でも多くの戦争遺跡(戦跡)が残されています。

また鹿屋は日本で最も多くの特攻隊員が出撃した地であるほか、真珠湾攻撃の作戦が練られた「鹿屋会談」が行われ、戦後に進駐軍の本土初上陸があったことから「太平洋戦争は、鹿屋で始まり、鹿屋で終わった」とも言われるほど、戦争に深く関わったまちと言えます。

戦跡の整備

市内の戦跡が抱える問題として、作られてから長年が経過したことによる風化や、樹木が生い茂り見学しにくいということが挙げられます。

残された戦跡を来訪者が分かりやすく安全に見学できるようにするため、昨年度「川東掩体壕(川東町)」と「地下壕第一電信室(串良町有里)」の駐車場の整備や案内板の設置を行い、多くの市民の皆さんが戦争の歴史や悲惨さについて学びきっかけとなっています。

今後も市ではツアー等で多くの人が訪れる戦跡について順次整備を行う予定です。

戦後70年以上が経過した現在、当時を知る戦争体験者が高齢化し、その経験を後世に伝えていくことが急務となっています。

また市内に今もなお多く残る戦跡について、そのほとんどは

「平和学習ガイド」と「戦争遺跡調査員」が活動を開始

毎年夏休み期間中には、戦跡を巡り戦争体験者の話を聞く「親子戦跡めぐりバスツアー」を開催しています。またその他の戦跡を巡る催しとして、昨年11月に「戦跡ウォーキング大会」を開催したほか、今年8月には自転車で戦跡を巡るサイクリング大会も初めて企画しました。

このように今まで戦跡や戦争の歴史について学ぶ機会が無かった人たちが参加しやすいような催しを行うことで、多くの人に鹿屋の戦争の歴史について考えてもらおうきっかけとなっています。

戦跡と戦争の歴史を活用した取り組み

市では、数年前から、戦跡や戦争の歴史について学ぶための様々な取り組みを行っています。

毎年夏休み期間中には、戦跡を巡り戦争体験者の話を聞く「親子戦跡めぐりバスツアー」を開催しています。またその他の戦跡を巡る催しとして、昨年11月に「戦跡ウォーキング大会」を開催したほか、今年8月には自転車で戦跡を巡るサイクリング大会も初めて企画しました。



記憶を後世に語り継ぐ

申良基地の様子を説明する河野良幸さん（右）



野里国民学校の校庭で整列する特攻隊員

あなたの戦争体験談を教えてください

「鹿屋の戦争の歴史を知らなかった…」これは平和学習を受けた子どもたちが書いた感想の中で、最も多かったものです。

終戦から70年以上が経ちましたが、残念ながら若い世代への継承が十分に行われているとは言えません。また子どもたちの祖父母が戦争を知らない世代ということも珍しくなくなってきています。

今の若い世代が、またその次の世代に語り継いでいくためにも、皆さんの戦争体験談が必要です。

あなた自身が経験したことや、周りで起こったことなど、電話、FAX、お便りなどで教えてください。市認定の平和学習ガイドと戦争遺跡調査員がお話をお伺いします。

市ふるさとPR課（2階）

☎0994-31-1121

FAX0994-40-8688

furusato-pr@e-kanoya.net

〒893-8501

鹿屋市共栄町20-1

記憶を残す
戦争の記憶を後世に残すための取り組みの一つに、戦争体験談の聞き取りがあります。7月25日、市認定の「平和学習ガイド」6人が、2班に分かれて市内の戦争体験者に聞き取りを行いました。申良町で行われた聞き取りでは、申良町岡崎の河野良幸さん（85歳）が当時の生活の様子などについて説明。ガイドも申良基地の施設などについて熱心に質問を行っていました。河野さんは「終戦間際には授業が中止され、銃剣の扱い方を教わったり、掩体壕作りがあったりして勉強することができませんでした。戦争を二度としたために、地域で起こったことを子どもたちに語り継いでいきたい」と話していました。

記憶を語り伝える
市では、聞き取った戦争体験や鹿屋の戦争の歴史を後世に伝える取り組みを行っています。昨年度は県外から訪れた多くの修学旅行生が、戦跡を巡ったり、平和学習ガイドの話を聞いたりしました。また市内の学校に向けた取り組みも行っており、7月6日に第一鹿屋中学校で行われた平和学習では、平和学習ガイドの迫睦子さんが聞き取った体験談や野里町での特攻隊員の様子、太平洋戦争の開戦のきっかけとなった「鹿屋会談」の話などを交えながら、戦争の悲惨さと平



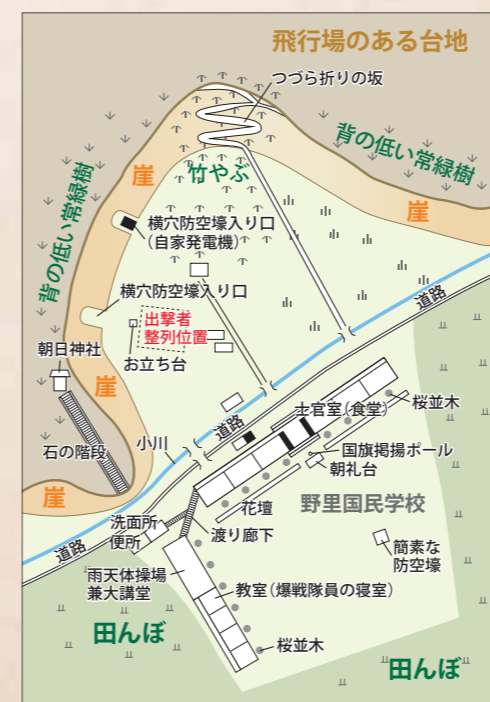
ガイドの話を熱心に聞く生徒たち

和の尊さを訴えました。若い世代にとって70年以上前の戦争の話は、なかなか実感が沸かないものですが、身近で起こった出来事や体験談を聞くことで、生徒たちからは「生まれ育った野里に特攻隊員が寝泊りしていたとは知らなかった」、「同年代の人たちの当時の話を聞いて自分のことのように考えることができた」といった感想が寄せられました。

野里国民学校の校庭で整列する特攻隊員



桜花の碑



元特攻隊員の証言を基に描いた当時の地図「出撃者整列位置」の辺りに現在桜花の碑がある

現在の野里小学校の南東500mほどの場所（朝日神社付近）にかつて野里国民学校がありました。国民学校（初等科）とは現在の小学校にあたり、野里国民学校の校舎は、戦況が厳しくなった昭和20年春頃から鹿屋基地を出撃する特攻隊員の宿舎として使用されました。鹿屋市史には、麦の収穫を手伝ってくれた特攻隊員に対して、感動した野里町民が、当時大変貴重だった牛1頭、豚3頭、鶏卵数千個を慰問品として届けたという記録が残っています。

特攻というと零式艦上戦闘機（零戦）を思い浮かべる人が多いと思いますが、この野里国民学校には、桜花と呼ばれる兵器に乗って敵に突入した第一神風桜花特別攻撃隊神雷部隊桜花隊の隊員たちも宿泊していました。桜花は頭部に1,200kgの爆弾が取り付けられており、一式陸上攻撃機という航空機で敵の上空まで運ばれた後、切り離されて突入する人間爆弾で、わずかな時間と距離しか飛行することができませんでした。さらに総重量が2トン以上あ

ることで、運搬する一式陸上攻撃機のスピードが低下し、突入前に迎撃される機体も多かったと言われています。昭和53年には、出撃した隊員の魂を祀るため、元特攻隊員の小城久作氏によって桜花の碑が建立されています。また、近くには当時の国旗掲揚台の一部や特攻隊員が洗濯や風呂などに使った小川などが残っており、当時の様子を伺いすることができます。市では、今年度中に野里国民学校周辺の整備を行う予定です。

特攻の記憶を刻む 野里国民学校跡周辺

街フォトスワラップ

みんなのイマをパシャ!!

イベント

九州の青年会議所会員が鹿屋に集結



7月30日・31日の2日間、市文化会館で「日本青年会議所九州地区協議会九州地区大会2016鹿屋大会」が開催されました。会では、九州地区78か所の青年会議所会員が集結し、九州をテーマにしたフォーラム等を実施。

また、大会に併せて「おおすみ魅力フェスティバル2016夏」も行われ、大隅と九州の魅力ある食が集結し、来場者を楽しませていました。

地域

明るい社会を目指して



7月1日、市役所駐車場「社会を明るくする運動」の出発式が行われました。

これは犯罪や非行の無い明るい社会を築くための全国的な運動で、市民に理解を深めてもらうため、毎年行っているもの。参加した保護司会鹿屋支部及び市更生保護女性会のメンバーは、式典後市内のスーパー等で活動への理解を求める啓発運動を行いました。

「関東串良会」総会



7月17日、東京都のホテルで「関東串良会懇親会」総会が関東地区在住の串良町出身者など80人が参加して開催されました。会では、昨年度の事業報告やふるさと会活動支援事業の説明などが行われたほか、総会後は抽選会や踊りなどで大いに盛り上がりました。また、今春に串良町から上京した3人の若者も出席し、多くの会員から激励の言葉をかけられていました。



7月23日、串良町で「2016くしら夏祭り」が開催されました。

会場の串良総合支所多目的駐車場周辺では、9団体が街頭全体踊りで会場をにぎわせたほか、フラダンスやラムネ早飲み大会、車が当たる大抽選会などが行われました。

また、祭りの最後には花火も打ち上げられ、訪れた大勢の観客は、熱気に満ちあふれた夏祭りを楽しんでいました。

産業

新たな「豚ばら丼」を公認



7月22日、市役所で「第4回かのや豚ばら丼研究会総会」が開催されました。総会では平成27年度の活動報告や今年度の事業計画などが審議されたほか、新たに「豚ばら丼」を提供する3店舗の紹介と試食会が行われました。

「豚ばら丼」が提供される店舗は合計7店舗。新たに公認された「豚ばら丼」で、地域のさらなる盛り上がりが見込まれます。

議会

高校生と議員が初の意見交換



7月4日、鹿屋女子高校で市議会の議会報告会が行われました。これは例年行われている地域での報告会に加え、高校生に議会や選挙に関心を持ってもらうと今月初めに開催されたもの。当日は3年生140人が参加し、議会の役割の説明に対する質疑応答や、市議会議員と生徒との意見交換などを実施。生徒らは真剣に耳を傾けながら、活発な議論を交わしました。

立地企業による懇話会を開催



7月26日、鹿屋市立地企業懇話会が行われ、市内の立地企業25社、高校、行政関係者など53人が参加しました。会では、操業30年を迎える岸化学産業(株)鹿屋工場と鹿屋島くみあいチキンフーズ(株)加工食品工場が地域定着企業として表彰された後、市内の高校生を対象にした工場見学会の結果を踏まえ、市内の若者の地元雇用促進について意見交換が行われました。

スポーツ

かごしま国体に向けて



7月2日、田崎小学校の体育館で、日本テニス協会S級エリートコーチの神谷勝則さんによる指導者養成研修とジュニアテニス教室が行われました。

これは、2020年のかごしま国体に向け、大隅から優秀なテニス選手を輩出することを目的に行われたもの。参加者らは、指導力と競技力の向上を目指して神谷さんの話を熱心に聞いていました。

表彰

紺綬褒章を受章



7月1日、市役所で(株)南九の山下幸一会長の紺綬褒章受章に伴う伝達式が行われました。

この褒章は、昨年、山下さんが個人で2,000万円という多額の私財を市に寄附したことから贈られたものです。

農業

新規就農者を支援



7月29日、1年間の研修期間を経て7月から新たにピーマン農家として吾平町で就農した、釘田智宏さん、茅場博人さん、鳥丸光太郎さんの3人に対する就農開始資金の贈呈式が市役所で行われました。

ボランティア

肝属川クリーン作戦



7月17日、下祓川町樋渡橋から吾平町馬込橋までの肝属川流域で「第33回肝属川クリーン作戦」が開催されました。当日は、周辺の町内会や各種団体などが参加して約1.5トンのごみを回収しました。

鹿屋の夏の海を満喫



7月17日、高須・浜田海岸で「マリノフェスタ2016 in かのや」が開催されました。これは地域資源の活用を目的に宝くじの助成金で開催したものです。当日はバナナボートやデインギーヨットなどのマリンスポーツ体験や綱引き、ビーチフラッグなど多くのイベントを実施。

また初開催となったビーチバレーボールには、24チーム約120人が参加し、熱戦を繰り広げていました。

星塚敬愛園で夏祭りを楽しむ



7月27日、星塚敬愛園で、自治会発足70周年記念「第38回夏祭り納涼大会」が開催されました。

この祭りは、入所者と地域住民との交流を深めるため、毎年開催されているもの。祭りでは、職員によるハンヤ踊りやひよっこ踊りのほか、歌手の新沼謙治さん、瀬口侑希さんによる歌謡ショーが行われました。最後は夜空を鮮やかに彩る花火も打ち上がり、夏祭りを楽しみながら、交流を深めていました。

行政

ロボットが館内を案内



7月2日、リナシティかのやで人型会話ロボット「Pepper」による館内案内開始セレモニーが行われました。業務用の「Pepper」が案内役として自治体の施設に導入されたのは九州初。セレモニー後には、集まった約40人の小学生が、早速「Pepper」の館内案内や早口言葉を聞いたり、踊りを見たりして、最先端のロボット技術を体感していました。

被災地支援

震災復興に役立てて



7月13日、熊本地震で甚大な被害を受けた熊本県と大分県に対して市に寄せられた義援金を、鹿屋市社会福祉協議会へ贈る寄贈式が市役所で行われました。

災害発生後の4月18日、6月30日の期間に市民の皆さんから寄せられた義援金は、3,894,521円で、社会福祉協議会から日本赤十字社鹿児島県支部を通して現地に届けられました。

来訪

体操の国際大会で優勝



7月5日、鹿屋体育大学体操部の前野風哉選手が、監督らとともに市役所を訪問しました。これは同選手が体操のカタール国際大会での優勝、ブラジル国際大会や全日本選手権での入賞を果たしたことから行われたものです。

県バレーボール大会で優勝



7月8日、6月に行われた「全日本バレーボール小学生大会」で優勝し、今月東京都で開催される全国大会へ出場する、西原台バレーボールスポーツ少年団女子チームの選手、監督ら17人が市役所を訪問しました。

警察庁長官表彰を受賞



7月5日、少年の非行防止や健全な育成のためにボランティア活動を永年行ってきた実績により警察庁長官表彰を受けた、鹿屋警察署少年警察ボランティア連絡会の皆さんが、市役所を訪問しました。

漁業

マダいの稚魚を放流



7月19日、古江港沖合で、花岡小学校の4年生26人がふ化後3か月のマダいの稚魚放流に参加しました。

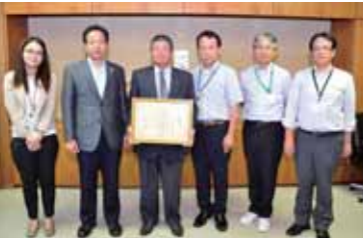
これは「豊かな海づくり」を推進するために毎年行われているもの。児童たちは漁船に乗り込み、沖合で体長約7cmのマダいの稚魚約27,000匹を放流した後、海に向かって「大きくなってね」と成長を願っていました。

ソフトボールで全国大会初出場



7月13日、6月に行われた全日本小学生ソフトボール大会県予選会で準優勝し、今月行われる全国大会に初出場する、下名ソフトボールスポーツ少年団の選手が、監督、コーチら関係者とともに市役所を訪問しました。

ウミガメ保護活動で表彰



7月8日、全国海岸功勞者表彰を受賞した村田和郎さんが市役所を訪問しました。これは永年にわたるウミガメの保護のため高須・浜田海岸沿線の見回りや、ウミガメ保護施設の監視を続けていることが評価されたものです。

柔道を通して国際交流を行う



7月19日、柔道を通じた交流を行うため市を訪れていた、フランス・マルセイユ柔道クラブのコーチらが市役所を訪問しました。コーチのミッシェルさんは「今後も交流を続けていきたい」と話していました。



楽しみながら健康度チェック

7月3日、県健康増進センターで「県ブラ開設イベント」&「鹿屋市健康まつり」が同時開催されました。これは、市民の健康意識の向上と同センターの利用促進を目的に行われたもの。

当日は、健康度や虫歯危険度、骨密度などの測定、歯の健康相談などが行われ、参加者は自らの健康度を確認し、健康づくりの必要性について改めて認識している様子でした。

弦楽器の豊かな音色が響く



7月29日、市役所市民ホールで「市役所ロビーコンサート」が開かれました。

これは、普段から音楽の研さんを積む演奏者の発表の場と、市民が気軽に音楽を楽しめる場の創出を目的として今年度から開始されたもの。第1回目のこの日は、「弦楽アンサンブルアタッシュ」のメンバー14人が「メヌエット」や「世界にだけの花」など8曲を演奏し、観客は弦楽器の豊かな音色に聞き入っていました。

鹿屋の名木

鹿屋市内には、全国一の巨木である蒲生の大楠など、数百年、数千年の長い間、自然の脅威にさらされながらも、先人が守り続けてきた名木・古木がたくさんあります。鹿屋市内にも地域のシンボルとして人々に長年親しまれ、守られてきた名木・古木が多く存在しています。市では特に貴重な樹木を指定文化財（天然記念物）に指定しており、継続的に保存に向けた取り組みを行っています。今号では、鹿屋市の指定文化財となっている貴重な名木を紹介します。

（注）名木の幹周り及び樹高、推定樹齢は文献等により記述が異なる場合があるため、表記の数値はあくまでも参考値としてご理解ください。

諏訪両神社のイヌマキ



諏訪両神社のモミ



諏訪両神社のイチョウ



「いつの時代の鎌だろうか…。」
樹木の命の営みとともに
樹内に巻き込まれていた鎌が数年かけて
樹皮から現れたり再び樹内に隠れたりする

諏訪両神社の古木（イヌマキ・モミ・イチョウ）

輝北町上百引諏訪にある諏訪両神社の境内には、イヌマキ、モミ、イチョウの三本の古木があり、いずれも樹齢400年以上と推定されています。イヌマキは幹周り3・4m、樹高22m。20mを超えるイヌマキは大変珍しいと言われています。

イヌマキの幹には無数の鉄の鎌が打ち込まれています。これは、諏訪両神社の祭神の一人「建御名方命」が武神であることから、戦陣に赴く者が武運長久を願い、神社から守護鎌を譲り受け、無事帰還すると願戻しのために、鎌をこの神木に打ち込んでいたからです。この風習は



「熊野神社のイヌマキ」根回りは9mとされる。樹齢は500年という説もある

熊野神社のイヌマキ

太平洋戦争まで続きました。永禄元年（1558年）とされる神社創建以来、イヌマキは樹内におびただしい数の鎌を巻き込みながら成長してきたのです。モミは幹周り4・75m。中間部まで枝は無く、樹高は32・8mもあり、威厳を放っています。イチョウは幹周り9m、樹高19・6m。昭和20年の台風で幹が折れ、中が空洞になりましたが、脇芽が4本伸び、幹のように成長。度重なる養生作業により、今でも樹勢を保っています。

イヌマキは鹿屋中央公園近くの熊野神社（新生町）の境内にあり、幹回り6・8m、樹高は20m以上。樹齢は300（400年と推定されています。幹は大きな空洞になっており、横に向かった幹は平成9年の養生作業により支柱で支えられ、現在に至っています。県下にあるイヌマキの中でも最大級と言われており、貴重な天然記念物として高く評価されています。



七狩長田貫神社のクス
根は境内下の歩道付近まではみ出しており
幹周りと根周りの判別が難しい

これら指定文化財の名木以外にも、瀬戸山神社(上蔵川町)・高千穂神社(花岡町)のシイが名木として知られています。
なお、名木として知られた八坂神社(輝北町上引)のスギ、月読神社(串良町有里)のナギ、吾平町神野のイヌマキは近年倒木し、残念ながら今はその姿を見ることができません。

七狩長田貫神社のクス
田崎町の七狩長田貫神社の境内にあるクスは、幹回り約10m、樹高25m。推定樹齢は900年近くとされています。生育の状態で良く、枝も四方に張って力強く、威容を誇っています。道路側から眺めても圧巻です。

大木は人を魅了する
大隅地域振興局林務水産課林務第一係長で森林総合監理土の下園寿秋さんに、樹木保護の注視点や、木と人との関わりなどについて伺いました。
「樹木の根は、最先端の葉っぱがある所の真下ぐらまで地下に広がっていると言われていたため、名木と言われるような背の高い樹木は、根も広く張っています。これは、新しい根の上にある土が人に踏み固められ、根が痛みやすいとも言えます。新しい根は水・栄養を最も吸収する場所。根の周囲を守る事が大事です。また台風や落雷等にも注意が必要です。中心部が空洞の大木をよく見かけますが、樹木は大きくなれば

ば光合成だけでは生きられないため、中心を腐らせながら外側に栄養を送って生き長らえるからだと言われています。
大木は人の生活に役に立っていた木が、いつしか役目を終えて、そのまま大きくなったとも言えます。イヌマキはイチヨウ同様、実が食べられます。クスからは殺虫成分のある樟脳が採取されていました。大木は長い間、地域とつながり、歴史をつむいできたシンボルなのです。長く育った木は、これからも人々を魅了し、エネルギーを与えてくれる存在だと思います。」



大隅地域振興局
林務水産課
下園 寿秋 さん



2



4



3



1

1 事代主神社のクス
2 十五社神社のイチヨウ
3 北原墓地のイチヨウ
4 山宮神社境内のナギ

まちのシンボルだった「大杉」

かつて輝北町上引の中心部、八坂神社の境内に、「大杉」と呼ばれるスギがありました。幹周り6.5m、樹高20mの樹齢約800年と言われた大木は、まちのシンボルとして親しまれ、また国道504号沿いにあったことから、車道を走る町外の人にも圧倒的な存在感を示していました。

長い間、台風や落雷に耐え、度重なる養生作業を行い保護されてきましたが、平成16年8月の大型台風により倒木の憂き目に遭い、今は跡形もありません。



子どもたちにも親しまれた大杉
(昭和50年代)



およそ800年の間、周辺一帯の変化の過程を静かに見守ってきた大杉

事代主神社のクス
串良町岡崎諏訪下の事代主神社の境内にあるクスは、幹回り5.8mで、樹高は21mを越す大木。樹齢は450年以上と推定されています。
十五社神社のイチヨウ
串良町有里中郷の十五社神社の境内にあるイチヨウは、幹回り5.9mで、樹高20.5m以上。樹齢は260年以上と推定されています。秋には多くのギンナンが実り、地域住民に親しまれています。
北原墓地のイチヨウ
串良町細山田平瀬の北原墓地にあるイチヨウは、幹回りは3.6mで、樹高18m以上。樹齢は700年以上と推定されています。イチヨウの枝の下には、同じく指定文化財に指定されている逆修古石塔群が静かに並んでいます。
山宮神社のナギ
串良町細山田堂園の山宮神社の境内にあるナギは、幹回り2.5mで、樹高20m以上。樹齢は300年以上と推定されています。

昔も今も愛されるクス
今から50年程前の話ですが、子どもの頃は遊び場が無かったので、近所の事代主神社のクスに木登りして遊ぶこともしばしばでした。
昔はこのクスの隣に樅の木があったんです。大木であるクスには直接登れなかったので、まずその樅に登って、そこからクスの幹の分かれ目に飛び乗って、友だちと遊んでいたことを思い出します。
当時から既に大木でしたが、その頃のクスは、こんなに大きくなかったような印象があります。幹周りは子どもが三人で手をつないで届くくらいだった記憶がありますが、今では大人4人でも届かないくらいですね。まだまだ木は元気だと思えます。今も昔も地域に愛されている事代主神社のクス。これからも長く地域のシンボルであってほしいと思います。



さちお
下村 幸男 さん
(串良町岡崎)

INTERVIEW



農家・農村を支援する 「かのや農援隊」隊員を募集

市では、農家・農村の様々な活動をボランティアで支援する新たな制度として、「かのや農援隊」制度を創設しました。

問 かのや農援隊事務局（市農林水産課内・2階） ☎0994・31・1117

市の農業の現状

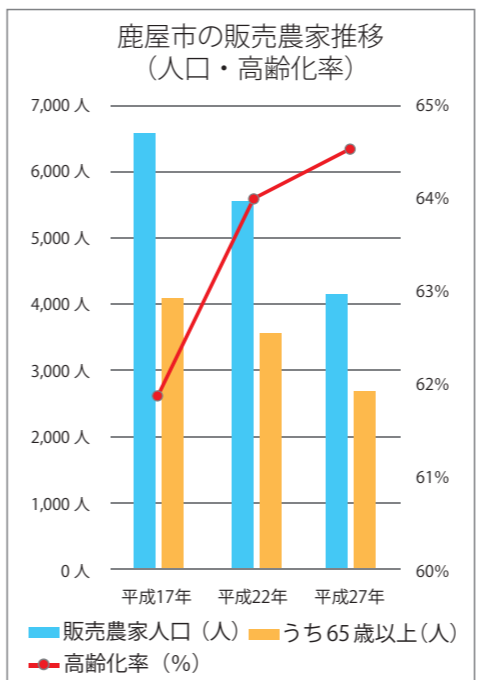
本市は、広大な農地や温暖な気候に恵まれた営農環境のもと、国内上位の産出額を誇る牛・豚の畜産をはじめ、さつまいも、ブロッコリー、ピーマン、キュウリなど、多種多様な農業経営が行われ、日本の食料供給基地としての役割を果たしています。

また、畑かん施設の通水や東九州自動車道の開通、大隅加工技術研究センターの開設など、農業発展の追い風となる基盤が整備されています。

しかし、農業を取り巻く環境は、販売農家人口の減少や高齢化・後継者不足に直面しており、また産地間競争の激化、飼料・農業資材価格の高騰、T P P 問題など、厳しい状況になっています。

販売農家人口の減少と高齢化の進展

農林水産省の統計によると、本市の販売農家人口は平成17年



※販売農家＝経営耕地面積 30a 以上又は農産物販売金額が年間 50 万円以上の農家
※出典：農林業センサス

には 6,588 人（旧 1 市 3 町）でしたが、平成 27 年には 4,152 人になっており、約 37% 減少しています。

また、販売農家人口のうち 65 歳以上の高齢者の割合は、平成 17 年の 61.9% から、平成 27 年には 64.5% と増加しており、販売農家人口全体の減少と高齢化が同時に進んでいることが分かります。

農業・農村の維持・発展に必要な取り組み

農業は、私たちの生活に不可欠な「食」を生み出す、なくてはならない産業であることも

に、加工や運送など多くの産業と関係があり、農業の発展が市の発展に直結しています。

このようなことから、本市の農業・農村を維持・発展させていくためには、農業経営における人手不足の解消が大きな課題であると考えられることから、農繁期等の労働力の確保に苦勞している農業を、ボランティアで支援してくださる人を広く募集することとしました。また、高齢化で共同作業が困難な農村集落においても「かのや農援隊」の活躍が期待されます。

農援隊への質問にお答えします

Q 主な活動内容は？

A 農家・農村の支援に関する活動全般が対象で、主に次のような活動になります。

- 植え付けや収穫作業等の農業補助
 - 用水路や農道の清掃等の環境保全活動
 - 集落等の祭りや地域行事等の運営補助
- といった、農地や作業場、関連施設などでの活動が中心になります。このほか、

○ 農業団体・組織の会計や総会資料作成、補助金申請手続等の事務作業

についても、農家・農村において必要な作業であり、これらの事務的な活動をしていただく人も募集しています。



農援隊の活動 (キャベツの苗の植え付け)

Q 隊員になる条件は？

A 農援隊に興味をもった人であれば、特別な資格や技術などは必要ありません。どなたでも登録可能ですが、特に次のような人を募集しています。

- 高校生以上の健康な人
- 農業や農村活動の支援をやってみたい人

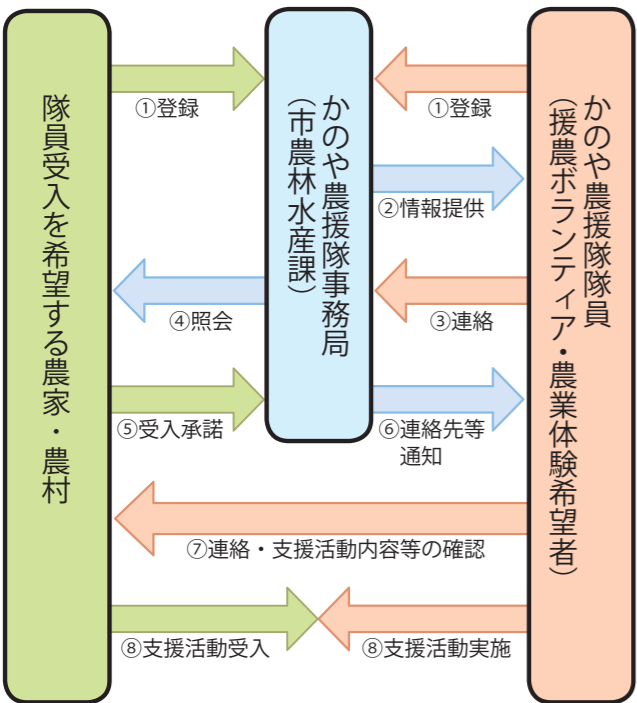
なお、未成年者の登録には保護者の同意が必要となります。

Q 活動する前には手続きが必要ですか？

A 左の図のように、農援隊活動をしてみたい人や、農援隊に活動してほしい農家・農村の皆さんは、事前に農援隊事務局に登録していただき、事務局がマッチングを行います。

マッチング後に、隊員と農家・農村との間で直接、活動の内容や日時、場所などを確認し、活動を実施（受入）します。

「かのや農援隊」マッチングの流れ



利用者の声



白寒水 つよし さん (申良町有里)

Q あらかじめ用意するものは？

A 活動に直接必要な道具などは、受け入れ農家・農村が準備をします。活動をする人は、安全に活動ができる服装などを準備していただきます。

なお、活動はボランティアになりますので、必要に応じて、活動を行う場所までの交通手段や食事などは、ご自身で準備をお願いします。

Q 万が一の補償は？

A ボランティアで活動に従事する場合は、市が加入する「市民活動総合補償制度」を適用します。

ただし、報酬などが生じる場合は適用外となるため、必要に応じて、自分で保険に加入するなどの対応をお願いします。

Q その他、農援隊について聞いてみたいのですが？

A 事務局では、登録や問い合わせ等を随時受け付けます。分からないことがありましたら、お気軽にお問い合わせください。

申良町有里で、ごぼう・キャベツ・大根等の露地野菜を中心に生産しています。

機械化により作業効率を向上させているのですが、細かな作業等、人の手に頼らないとできないこともあります。

また、農業は時期により、作業内容や必要人数等が大きく異なってくることから、労働力の確保にも苦勞しているところ です。

この制度を紹介してもらって、今回はキャベツの苗の植え付けをお願いしました。ボランティアでお願ひしたのですが、とても丁寧な作業をしていただき、大変助かりました。

農家・農村の現状と、ボランティア・農業体験希望者等の想いがうまくつながって、農援隊の制度がより広まってほしいと思います。

かのやメンバーズクラブ

の構築を進めています!!

「かのやメンバーズクラブ」とは、全国の多くの皆さんに鹿屋市とご縁を持っていただき、従来の自治体の枠を超えた人と人とのつながり「まちづくり」を推進するための新しい形の自治体運営の会員組織です。市の取り組みを応援していただくことで、ポイントを獲得することができます。

市の特産品と交換することができます。
※応援サイトと携帯アプリのサービス開始予定は9月です。

市外だけでなく、鹿屋市民の皆さんも入会可能ですので、ぜひ入会をお願いします!



ふるさと PR 課 橋口主任主事

◎応援の方法

広報して 応援

自身で運営するブログや SNS 等で、メンバーズクラブや鹿屋市へのふるさと納税を広報する。(紹介用 URL の掲載)

紹介用 URL からメンバーズクラブ会員に登録し、さらにふるさと納税をした場合、寄附額の5%を紹介者に応援ポイントとして付与します。

紹介して 応援

メンバーズクラブ会員が、友人等に鹿屋市へのふるさと納税やメンバーズクラブを口コミ等で紹介する。

紹介された人がメンバーズクラブ会員に登録し、さらにふるさと納税をした場合、寄附額の5%を紹介者に応援ポイントとして付与します。

来場して 応援

市が指定する対象イベント会場に足を運ぶ。



イベント会場で来場の確認ができれば、応援ポイントを付与します。(専用アプリによるQRコード読取を想定)

特技で 応援

自身が持つ特技・スキルで、鹿屋市を応援する。



特技の内容・市への貢献度に応じて応援ポイントを付与します。

手伝って 応援

市の要請に基づき、市主催イベント等の運営を手伝う。



お手伝い内容(会場設営、当日運営等)に応じて応援ポイントを付与します。

寄附して 応援

鹿屋市ふるさと納税特設サイトからふるさと納税をする。
※市外在住者でふるさと納税をした人限定

寄附額に応じて寄附ポイントを付与します。

市へのふるさと納税の状況

年度	件数	金額(万円)
H20	72	454
H21	78	562
H22	65	539
H23	59	683
H24	43	681
H25	65	1,700
H26	102	2,732
H27	39,504	82,605

村中36位の額です。今年度も返礼品やサービスのさらなる充実に向けてまいります。

ふるさと納税のメリットは?
寄附者は、寄附金額のうち2,000円を越える部分について所得税や個人住民税の軽減を受けることができ、さらに寄附する自治体によっては、地域の特産品等の特典を受けることができます。
また、自治体にとっては、寄附金により歳入が増えるのほもとより、特産品のPRや地域の経済効果などが期待できます。

ふるさと納税のデメリットは?
市では、黒毛和牛や黒豚、大隅産のうなぎなど約250種類の特産品を取りそろえ、市外在住の寄附者の皆さんに返礼品を送付しています。
※鹿屋市民の皆さんからのご寄附に対しては、返礼品を送付しておりませんのでお気を付けてください。
熊本地震による代理寄附受付を行いました
市では、平成28年熊本地震により被害を受けた熊本県を緊

市への寄附の状況は?
市への寄附は年々増えており、カタログ作成や返礼品の充実を図った平成27年度は、前年度比30倍以上となる8億2,605万円でした。
これは全国1,742市区町急支援するため、平成28年4月27日から6月末まで「鹿児島県鹿屋市」を窓口とするふるさと納税による寄附金の受付を行いました。
いただいた寄附金については、皆さんお一人おひとりから寄せられた応援メッセージと合わせて、8月上旬に全額を熊本県に送金いたしました。
ご理解とご協力、誠にありがとうございました。

- ① 地域の資源を生かした「地域経済活性化事業」
- ② 健康・福祉の充実による「すこやか・あんしん事業」
- ③ 教育・文化・スポーツの振興による「人材育成事業」
- ④ 豊かな自然を次代に引き継ぐ「環境保全事業」
- ⑤ 都市圏等のふるさと出身者へ

ふるさと納税とは?
ふるさと納税とは、ふるさとや希望する自治体(市区町村・都道府県)に寄附を行った場合に、寄附金額から2,000円を差し引いた金額が、翌年度の個人住民税などから、一定額を上限に控除される制度です。
○都市と地方の税収の格差が広がっていること
○生まれ育ったふるさとに、多くの皆さんが大きな郷土愛を持って居ること
を背景に、他の自治体に居住されている人が、出身地などの自治体の活性化を応援・支援するために創設されました。
寄附金はどんなものに活用されるの?
市では、以下の5つの事業に活用され、寄附者は事業を選ぶことができます。

ふるさと納税で!メンバーズクラブで! / ふるさとかのやを応援してください!

市では、昨年度ふるさと納税のカタログの作成や返礼品の充実を行い、全国から多数の寄附をいただきました。今年度はさらに本市の魅力の発信と、シティセールスや移住・定住施策を推進するため、「かのやメンバーズクラブ制度」を創設しました。ふるさと納税とメンバーズクラブへの登録で、ふるさとの応援をよろしくお願いいたします。

市ふるさと PR 課 (2階) ☎ 0994-31-1149

との連携を強化する「ふるさと会活力推進事業」

市外・県外在住のご親戚・ご友人がいらっしゃいましたら、本市のふるさと納税の紹介をよろしくお願いいたします。

桜の植樹に寄附金を活用

平成28年度ふるさと納税 返礼品申し込み件数ランキング

- 1 国産アップルマンゴー (受付終了)
- 2 鹿屋産超・熟成黒毛和牛セット 800g
- 3 鹿児島県大隅産うなぎ蒲焼2尾セット
- 4 唐芋レアケーキ 特選6本セット
- 5 黒毛和牛A-5等級サーロインステーキ 約220g×3枚入

※順位は8月1日時点



ふるさと PR 課 別府主任主事

募集・申請

「目からうろこの人材確保セミナー」の参加者を募集

◎内容 農業・商工業・福祉が連携する「支援つき就労」で新たな担い手を確保するための仕組みを学ぶセミナー
 ◎日時 8月29日(月) 13時～17時
 ◎場所 鹿屋商工会議所
 ◎定員 100人(定員になり次第締め切り)
 ◎参加料 無料
 ◎申込方法 電話で申し込むか、企業名・電話番号・メールアドレス・FAX番号・参加者氏名・ふりがな・部署・役職を記入してメール又はFAX

◎申込期限 8月26日(金)
 ◎大隈くらし・しごとサポートセンター
 ☎0994-52-2072
 FAX0994-52-2073
 osumi.kurasapo@aioros.ocn.ne.jp



小規模企業等立地・雇用促進補助金をご利用ください

◎内容 市内における小規模企業等の立地及び事業拡大を促進し、産業の振興及び雇用の増大を図るために創設した補助制度
 ◎補助対象業種及び最大補助額

業種	最大補助額
① 情報通信業	480万円
② 飲食料品製造業	450万円
③ 飲食料品卸売業	
④ 倉庫業	550万円
⑤ 一般飲食業	

※補助率の基準については、窓口又は電話で確認
 ◎補助対象事業者の要件
 ◎公害防止に関する法令その他関係法令に違反していないこと
 ◎市と立地協定を締結していること
 ◎市税の滞納が無いこと
 ◎新規雇用者が3人以上いること
 ◎表の①～④の業種は、土地・建物の取得又は賃借により工場等を新設又は増設すること
 ◎表の⑤の業種は、申請日の属する年度内の鹿屋産食材等購入

入予定額が1,000万円以上であること
 ◎申請方法 窓口又は電話で確認
 ◎市産業振興課(2階)
 ☎0994-31-1180



「クラウドファンディング推進事業」を開始しました

市では鹿兒島銀行との包括業務提携に基づいて、専用サイト『鹿兒島銀行が「つなぐ」ふるさと応援』を通じた「クラウドファンディング推進事業」を開始しました。
 クラウドファンディングとは、特定の事業または企画を実現するために、インターネットを通じて、必要な資金を広く不特定多数の人々から集める手段のことです。
 市ではクラウドファンディングを通じて、地域活性化や起業・雇用創出の向上につながる事業を始めたいと考える人や団体が、新しいアイデア

を満たす人
 ◎県内の高校を平成29年3月卒業見込みで高校校長が推薦する人
 ◎本校への入学を強く希望し、本人又は保護者の現住所が県内にある人
 ◎卒業後、県内において農業に従事し、地域の農業振興に尽くす意思が強く、心身共に健康で優秀な人
 ◎学業成績の教科科目の評定値平均が「3」以上の人
 ◎定員 学科定員のおおむね1/2以内
 ◎試験日 10月5日(水)
 ◎申込方法 出願書類を郵送
 ◎申込期間 8月26日(金)～9月16日(金)
 ※当日消印有効
 ◎県立農業大学校
 〒899-1331
 日置市吹上町和田1800
 ☎099-245-1071

防衛大学校学生・陸上自衛隊高等工科学校生徒を募集

◎募集種目、受験資格等

募集種目	受験資格	申込期間(締切日必着)	1次試験期日
防衛大学校学生	推薦	高卒(見込みを含む)21歳未満の、成績優秀かつ生徒会活動等に顕著な実績を納め、学校長が推薦できる人	9/5(月)～8(木) 9/24(土)・25(日)
	総合選抜	高卒(見込みを含む)21歳未満の人(自衛官の場合は23歳未満の人)	9/24(土)
	一般(前期)		9/5(月)～30(金) 11/5(土)・6(日)
陸上自衛隊高等工科学校生徒	推薦	中卒(見込みを含む)17歳未満の、成績優秀かつ生徒会活動等に顕著な実績を納め、学校長が推薦できる男子	11/1(火)～12/2(金) 1/7(土)～9(月)の間のいずれか1日
	一般	中卒(見込みを含む)17歳未満の男子	11/1(火)～1/6(金) 1/21(土)

県立農業大学校の入学を募集

◎一般入試
 ◎受験資格 次のすべての条件を満たす人
 ◎高校卒業後、農業に従事する見込みがあり、心身共に健康な人
 ◎定員 70人
 ◎農学部 45人
 ◎畜産学部 45人
 ◎試験日
 ◎A日程 11月22日(火)
 ◎B日程 平成29年2月1日(水)
 ◎申込方法 出願書類を郵送
 ◎申込期間
 ◎A日程 10月7日(金)～11月2日(水)
 ※当日消印有効
 ◎B日程 平成29年1月4日(水)～1月23日(月)
 ※必着
 ◎推薦入試
 ◎受験資格 次のすべての条件

し、必要事項を記入して提出
 ◎自衛隊鹿兒島地方協力本部鹿屋地域事務所
 ☎0994-42-4386

◎申込方法 募集要項、志願票、受験票を自衛隊鹿兒島地方協力本部鹿屋地域事務所に請求

や夢の実現を達成できるよう、応援します。
 ◎対象者 次のすべての条件を満たすこと
 ◎市内在住又は市内で活動する個人。もしくは市内に所在又は市内で活動する団体、事業者等であること
 ◎パソコンの基本的な操作が可能であること
 ◎本市における地域活性化を目指した企画や事業を計画していること
 ◎鹿兒島銀行の口座を開設していること
 ◎クラウドファンディングの流れ
 ① 申込書兼受付書及び誓約書の提出
 ② 審査結果の連絡
 ③ 事業情報を専用サイトで公開
 ④ 事業を応援したい人が資金を提供
 ⑤ 事業開始
 ⑥ 応援してくれた人への返礼(製品又はサービスによる返礼)
 ◎申請方法 市ホームページ又は電話で確認
 ◎市政策推進課(3階)
 ☎0994-31-1125

「第10次鹿屋市交通安全計画(案)」への意見を募集

◎内容 本市における交通安全対策推進の基本的な方向性や取組の概要を示す「第10次鹿屋市交通安全計画(案)」への意見の募集
 ◎閲覧場所 市ホームページ、市安全安心課、情報公開室、各総合支所住民サービス課、各出張所、鹿屋警察署交通課、鹿屋市交通安全協会
 ◎提出方法 市ホームページ及び閲覧場所にある意見提出用紙を直接持参、郵送、メール又はFAX
 ◎提出期間 8月15日(月)～9月15日(木)
 ◎市安全安心課(3階)
 〒893-8501
 鹿屋市共栄町20-1
 ☎0994-31-1124
 FAX0994-43-2001
 anzen@e-kanoya.net



「第20回図書館エッセイコンテスト」の作品を募集

◎募集テーマ 自由
 ◎募集内容 市販の原稿用紙(高校生以上はパソコン等も可)に次の文字数以内で作成
 ◎小学1～3年生 1,000字
 ◎小学4～6年生 1,200字
 ◎中学生 1,600字
 ◎高校生以上・一般 2,000字
 ◎対象者 次のいずれかに該当する人
 ◎市内に居住している人
 ◎市内に通学又は通勤している人
 ◎市出身者
 ◎応募方法 高校生以下は、学校名・学年・氏名(ふりがな)を明記し、各学校を通じて応募。それ以外の人は住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記して、直接来館又は郵送
 ◎応募期限 9月30日(金)
 ◎その他 入賞作品(各部門とも特選・入選各2点)は文集「かのや文芸」に掲載予定
 ※応募作品は原則返却不可
 ◎市立図書館
 〒893-0007
 鹿屋市北田町11107
 ☎0994-43-9380

経営セミナー「中小企業の実践型マーケティング成功のポイント」の受講生を募集

◎内容 売上アップにつながる効果的なインターネット活用方法を解説する経営セミナー
 ◎講師 竹内幸次氏(株式会社スプラム代表取締役・中小企業診断士)
 ◎日時 9月8日(木) 14時30分～16時30分
 ◎場所 鹿屋商工会議所
 ◎定員 50人(定員になり次第締め切り)
 ◎受講料
 ◎鹿屋商工会議所会員 無料
 ◎鹿屋商工会議所非会員 2,000円
 ◎応募方法 電話又は申込書に必要事項を記入してFAX
 ※申込書は鹿屋商工会議所会員の事業所で配布するほか、鹿屋商工会議所ホームページからもダウンロード可能
 ◎鹿屋商工会議所
 ☎0994-42-3135
 FAX0994-40-3015



「第2回図書館を使った調べる学習コンクール」の作品を募集

●内容 自身の「知りたい」と思う謎を市立図書館、各総合支所や各小中学校の図書室の資料を使って調べまとめた作品を発表するコンクール

●作品の規格
○小学生 B4までの大きさの用紙50ページ以内
○中学生 A4までの大きさの用紙50ページ以内

※作品には、「調べる学習」に利用した資料名及び図書館(室)名、図書館(室)を使った感想を記載すること
●対象者 市内の小・中学生
●賞 館長賞・審査員特別賞・金賞・銀賞・参加賞
●応募方法 学校又は図書館へ提出

●応募期間 9月1日(木)～9月30日(金)

●市立図書館
☎0994-43-9380

お知らせ

創業なんでも個別相談会を開催しています

鹿屋商工会議所、かみや市商

工会、日本政策金融公庫、鹿屋市で構成する鹿屋市創業応援ネットワーク連絡会議では、毎月2回、「創業なんでも個別相談会」を開催しています。

日本政策金融公庫の融資担当者も同席しますので、経営やマーケティング、助成金のことから融資の相談まで、創業に関するあらゆる相談が可能です。ぜひ、ご利用ください。

●日時及び場所
○鹿屋商工会議所 毎月第1水曜日 10時～16時

○かみや市商工会申良本所 毎月第3水曜日 10時～16時

●対象者 新たに創業・起業を目指している人や新たな事業や分野への進出に取り組もうとする事業者など

●その他 事前に電話で相談日時が予約が必要

●市産業振興課(2階)
☎0994-31-1180

「輝北ふれあい広場ぼかぼか」をご利用ください

市では、輝北ふれあいセンターの一部を改修し、「輝北ふれあい広場ぼかぼか」を開設しています。子育て中の人たちが気軽に集

請してください。

●対象者 以下のすべての条件を満たす人

○18歳以上の人(平成10年12月6日までに生まれた人)

○市内に住所又は事業場のある人

○1年に90日以上、漁船を使用する漁業を営む人又は漁業者のために漁船を使用して行う水産動植物の採捕もしくは養殖に従事する人

●申請方法 市選挙管理委員会事務局、高須出張所、花岡出張所、市漁業協同組合のいずれかに申請書を提出

●申請書は各提出先で配付
●申請期間 9月1日(木)～9月5日(月)

●市選挙管理委員会事務局(5階)
☎0994-31-1142

マンダースを目撃したら連絡してください

特定外来生物のマンダースが、5月に南さつま市で確認されました。マンダースは、テンやイタチなどとよく似ていますが、体の色が灰色っぽく、また、昼行性のため昼に多く見られる特徴があります。

える広場となっております。絵本や遊具などを備えています。子どもの遊び場として、また、親同士の交流などの場として、ぜひご利用ください。

●開館時間 8時30分～17時
※土・日曜日及び祝日も利用可能

●利用料 無料

●輝北ふれあいセンター
☎0994-486-0777



畦や土手の適切な管理をお願いします

農地の畦や土手の管理を怠ると、近隣への迷惑はもとより、道路に面した所では見通しが悪くなり、交通事故の原因にもなる恐れがあります。

農地を所有している人や借りている人は、畦や土手の適切な管理をお願いします。

●市農業委員会事務局(6階)
☎0994-31-1131

B型肝炎ワクチンの定期接種が始まります

これまで任意の予防接種だったB型肝炎ワクチンが、10月1日から定期接種となります。

対象は、平成28年4月1日以降に生まれた0歳児で、1歳になる前に3回の接種を終える必要があります。また、1回の接種から次の接種まで4週間以上の間隔をあげる必要があります。

対象乳児の保護者宛てには、9月中旬以降に個別に通知書を発送しますので、内容を確認のうえ計画的な接種をお願いします。

●市保健相談センター
☎0994-41-2110

イベント

ぶらり京町横丁2016

●内容 かつて市民の台所として栄えた京町の町並みを昭和レトロ調に再現する、一夜限

鹿児島空港国際定期路線利用者に対して助成を行っています

県では、鹿児島空港の国際定期路線(ソウル線、上海線、台北線、香港線)を利用する6人以上の団体やビジネス客に対して渡航費用の一部助成を行っています。

また、4路線の乗り継ぎ利用に対しては助成額を増額します。便利な鹿児島空港国際定期路線を、ぜひご利用下さい。

●県交通政策課
☎0994-286-2457



あなたも「里親」になってみませんか

里親とは、さまざまな事情により家族と暮らすことができなかった子どもを自らの家庭に温かく迎え入れ、愛情と真心を込めて養育して下さる人のことです。

県では、子どもの養育に理解と熱意、そして子どもに対する豊かな愛情を有している人を、里親として認定・登録し、保護

を必要とする子どもの養育をお願いしています。

里親になるには、特別な資格などは必要ありませんが、知事から里親として認定され、登録される必要があります。

里親制度に関心のある人は、ぜひご連絡ください。

●大隅児童相談所
☎0994-43-7011

夏場の脳梗塞に注意しましょう

鹿児島県は、平成27年の脳卒中による死亡率が、全国平均の1.5倍(全国ワースト5位)と高くなっています。

また、脳卒中による死亡者の6割を占める脳梗塞は、一年の中でも夏に最も多く発症します。理由として、夏は大量の汗をかいたため体が脱水状態になりやす

いことがあげられます。脱水が起きると血液の中の水分が不足し、粘度が増し、血栓ができやすくなります。

夏は脱水による体内の水分不足に注意し、こまめな水分補給に努めましょう。

●県健康増進課
☎0994-286-2717

曲目

- ルパン三世のテーマ
- やさしさに包まれたなら
- ヴォカリーズ
- G線上のアリア
- いい日旅立ち
- マイウェイ
- にじいろ

●日時 8月31日(水) 12時20分～12時50分

●場所 市役所1階市民ホール

●料金 無料

●市生涯学習課(6階)
☎0994-31-1138

2016秋～農研祭リ

●内容 軽トラ市、フリーマーケット、マグカップ絵付けやモザイクキャンダル作りなどの体験イベント、飲食・加工食品販売 など

※雨天時は内容を変更して実施
※体験イベントは事前予約と材料費が必要
●日時 9月3日(土) 10時～15時

●場所 市農業研修センター
●その他 勤労者交流センター 講座体験DAYを同時に開催
●市農業研修センター
☎0994-43-9292

健康づくりに動んでいる地域の高齢者をご紹介します

ACTIVE アクティブ シニアライフ!!

よしまつ ようこ
吉松 洋子さん(69歳)

平成3年4月食生活改善推進員連絡協議会に入会。平成20年に会長に就任し現在に至る。平成22年に市長表彰、平成23年に県食生活改善推進員連絡協議会会長表彰を受賞。



長らく食生活改善推進員連絡協議会（以下、食改）に所属していますが、食改の活動を通して元気をもらっています。食改は親子料理教室や男性料理教室、生活習慣病予防教室など様々な事業をボランティアで行っており、苦労もありますが、幅広い世代の人との出会いや、参加者からの喜びと感謝の言葉があり、その度に「やってて良かった」と思い、次への元気につながっています。

食改の仲間は、皆笑顔が素晴らしく元気でにぎやか。楽しまないとできません。もちろん家族にも支えられています。「今日の会は何時まで?」と主人に聞かれて「2時まで」と

答えたら、「じゃあ3時だね」と主人に言われるほど、会が終わっても仲間たちのおしゃべりが弾むのです。おしゃべりも元気の源だと思います。

食改では新しい情報をいち早く知ることができます。その情報を取り入れて、まず自分の家族を健康にして、そこからご近所に広げていきたいと思います。そして、さらにその人たちがお友達に広げてくださればいいと思っています。家族が納得してくれるのも、このような活動を理解してくれているからだと思います。

体を動かすのも健康の秘訣。月1・2回のペースでやっているゴルフは、始めてからもう17年ぐらい経ちます。また、週に2・3回ほどウォーキングもしています。

そして、何と言っても「よく眠ること」。書類に目を通したり会の準備をしたりで、寝るのが深夜になることもありますが、それでも床に就けば熟睡できます。とにかく眠れなかったということはありません。

最後に、若い頃、両親から「手に職を付けないと苦労する。将来、何かあるか分からないから」と言われて、栄養士の学校に通い、食事の大切さを知ることができました。一人っ子だったので心配したのですが、今があるのは両親のお陰だとつくづく思っています。



8月・9月 休日救急当番医・歯科休日急患在宅医



鹿屋市医師会		診療時間 8:30 ~ 18:00	
月 日	医療機関	住 所	電話(0994)
8月14日	㊦ 吉重内科消化器科	西大手町	41-3100
	㊧ えとう小児科	札元2丁目	40-3700
	㊨ 大隅鹿屋病院	新川町	40-1111
8月21日	㊩ 末次内科循環器科	新生町	43-2331
	㊪ まつだこどもクリニック	西原2丁目	52-0507
	㊫ 検見崎病院	西原1丁目	43-2991
28日	㊬ 浜崎クリニック	向江町	43-3305
	㊭ やのファミリークリニック	寿4丁目	43-6248
	㊮ 恒心会おぐら病院	笠之原町	44-7171
9月4日	㊯ 森田胃腸科内科医院	郷之原町	40-2822
	㊰ おひさまこどもクリニック	新川町	42-7822
	㊱ 村上整形外科医院	今坂町	41-2511
11日	㊲ 長崎内科	笠之原町	43-2195
	㊳ えとう小児科	札元2丁目	40-3700
	㊴ はるしま整形外科クリニック	旭原町	41-2211

肝属東部医師会		診療時間 9:00 ~ 17:00	
月 日	医療機関	住 所	電話(0994)
8月14日	山内クリニック	肝付町前田	65-8181
	児玉医院	東串良町川東	63-8522
8月21日	春陽会中央病院	肝付町新富	65-1170
	山路医院	東串良町池之原	63-2134
28日	吉川医院	肝付町前田	65-2022
	新中須医院	東串良町池之原	63-2010
9月4日	小浜クリニック	吾平町上名	58-6025
	はらだ整形外科	東串良町池之原	63-8080
11日	入佐内科	吾平町麓	58-7006
	内村産婦人科	串良町岡崎	63-2521

鹿屋市歯科医師会		診療時間 9:00 ~ 15:00	
月 日	医療機関	住 所	電話(0994)
8月14日	吉留歯科医院	旭原町	42-3708
8月15日	おにがはら歯科医院	寿2丁目	40-3340
21日	下浜歯科医院	川西町	41-5888
28日	中原歯科医院	西原1丁目	43-0088
9月4日	永山矯正歯科医院	西原4丁目	40-1182
11日	西の原歯科	打馬1丁目	40-4180

◎大隅肝属地区消防組合テレホンサービス

☎ 0994-43-0119

平日/午後5時から夜間救急当番医を案内

※ただし、火災発生時は一時火災情報に変わります。

休日/休日救急当番医及び歯科休日急患在宅医を案内

※休日救急当番医及び歯科休日急患在宅医は、変更になることがあります。各医療機関にご確認のうえ受診してください。

※休日救急当番医の診療は、急病に対する処置ですので、翌日はかかりつけの医師などの診療を受けてください。原則として、投薬期間は通常1日分とします。



私

は21歳の時に西部歩兵第18部隊に入隊しました。3か月間の強行訓練後、一緒に入隊した約300人中、270人は戦地へ、残り30人は次々に入隊する新兵の訓練助手や連隊並びに中隊の事務に従事しました。私は第八中隊の功績係

(事務)で、戦地から送ってきた兵隊の功績を詳しく記した文書を整理して記録するのが仕事でした。沖繩が昭和20年の4〜5月に米軍の占領同様になった時、当時働いていた鹿児島市内の上空には米軍の大型爆撃機ロッキードと戦闘機グラマンが毎日飛来していました。ロッキードがあまりにも高度を飛行するため、日本軍の攻撃は何回発射しても届かず、日本と米国の兵器の優劣の差は耳にしていたが現実に見て失望しました。またこのような現実を目の当たりにして、いよいよ日本の敗北は近いと感じました。8月15日正午に天皇陛下のお言葉があり終戦。私たちが軍人は正座し、大声で泣きました。(立元明光さん・96歳・男性)

いただいたお便りを読んで、当時を生き抜いて来られた方々の苦労や悲しみは、想像を絶すると感じました。戦争を体験された皆さんの記憶を、戦争を知らない私たち世代が、今後どのように次の世代へ引き継いでいけるのが課題だと思います。今月は、「戦争の記憶を語り継ぐために」と題して特集を組んでいます。若い世代をはじめ多くの人に読んでいただき、戦争の悲惨さや命の大切さ、平和の尊さなどについて、改めて考えるきっかけになればと思います。

4

月16日の熊本地震で車中泊をしていますが、ご縁があり鹿屋で仮住まいすることができ、とても感謝しております。地震がなかったら一生来ることがなかったかもしれない土地で、今は皆さんの温かさをいただきながら、生活しています。鹿屋をたくさん散策しております。(あーちゃんさん・64歳・女性)

「あーちゃん」さんは、ご縁があつて鹿屋市に来られたとのこと。いろいろなところを見て回っておられるんですね。これからの時期は秋に向かって食べ物がおいしくなる季節です。鹿屋の旬の食べ物もぜひ味わってほしいと思います。また被災地の一日も早い復興を心からお祈りいたします。

F

Mかのやについての特集記事、楽しく拝見しました。開局10周年なんですね。おめでとうございます。私も毎朝「おすみおはようラジオ」を聞いています。今はようラジオ」を聞いています。今や名物パーソナリティーの前原さとみさんの元気な声で「よし今日も頑張ろう!!」という気分になるのです。地元の話、イベントなど盛り沢山で、なくてはならない存在となっています。20周年に向けて頑張ってくださいね。(H・Aさん・53歳・女性)

広報かのやへのご感想ありがとうございます。コミュニティFMの魅力の一つとして挙げられるのが、地域に根ざした放送内容が多いことではないでしょうか。地域ネタだからこそパーソナリティーとリスナーのやり取りがさらに盛り上がるんだと思います。今後もしんどんりクエストやメッセージなどをFMかのやに送ってくださいね。また、鹿屋の行政情報「かのや市政インフォメーション」もお聞きください。

このほか複数のお便りをお寄せいただきました。今号で掲載できなかったお便りについては、ホームページで公開しています。

※キリトリ線

8 9 3 - 8 5 0 1

No.255

市民の皆さんからのお便りを募集

広報誌への感想や、市へのご意見のほか、地域のイベントや出来事、お勧めスポットなど多くの情報もお寄せください。

お便りをいただいた方の中から、抽選で特産品等をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしています!

※掲載時に、原稿の一部を手直します場合もございます。

〒893-8501 鹿屋市共栄町20-1 市政策推進課
「市民のひろば」係
☎ 0994-31-1123



お手数ですが
52円切手をお貼りください

鹿屋市役所 政策推進課

Kanoya 「市民のひろば」係 行

お名前/ふりがな

電話番号

ペンネーム ※未記入の場合、イニシャルで掲載します

年齢/性別

歳 男・女

ご住所 □□□-□□□□

プレゼント

要・不要

Close Up



「鹿屋市ボクシングクラブ」は、2020年がごしま国体の出場、優勝を目標として、市内の小・中学生を対象に活動しています。選手は、国体で県の監督を務める2人の指導者のもと、日々練習に励んでおり、既に九州大会や全国大会で活躍しています。

安全面を心配されるかと思いますが、小・中学生の試合は、高校生や大人の試合より安全性に配慮したルールとなっていますので、安心して活動できます。興味がある人はお気軽に電話で問い合わせのうえ、見学にお越しください！

- 練習日＝原則土曜日を中心に月2～4回（2時間程度）
- 練習場所＝鹿屋ボクシングジム（新川町624）
- ☎鹿屋ボクシングクラブ ☎0994-41-5107

クロースアップ!!

明日への扉

No.20

もつとたくさんの人に

音の楽しさとの出会いを



Miho Miyawachi

宮内 美歩 さん

昭和60年鹿屋市生まれ。10歳からフルートを始め、平成17年3月鹿児島国際大学短期大学部音楽科卒業、平成24年ドイツへ留学。帰国後はフルート教室を主宰し後進の指導にあたるほか、県内各地でコンサートや出張演奏を行う。かのやオーケストラ団員。（31歳）

フルートやピアノの指導、出張演奏、オカリナ生涯学習講座講師など、地域に音楽を広める活動に日々没頭。12月には市役所ロビーで、平成29年1月にはリナシティかのやでコンサートを開催予定。



小学4年生から吹奏楽部に入部して、そのときに出会った先生から勧められたのがフルートです。この出会いが私の人生を方向付けました。中学・高校と吹奏楽部でフルートを続け、鹿屋高校卒業後は短期大学の音楽科に入学して専門的に学びました。

短大卒業後は地元で就職し、同時に社会人の吹奏楽団に所属しましたが、7年目で仕事が忙しくなってきたことから、休団を余儀なくされました。音楽と少し距離を置いていたその時、鹿児島出身の世界的に活躍する指揮者・下野竜也先生が、その吹奏楽団を指揮してくださいました。

一念発起した私は退職して、ドイツに1年間の留学。とても良い二人の先生に恵まれ、音色作りや基礎的な事から音楽性、演奏解釈等多くを学びました。また、ドイツの子どもにフルートを教えたことで、音楽そのものだけでなく「音楽を伝え広める」ことの楽しさと大切さも学びました。

帰国後は、「学んだ事を大隅に広めて、たくさんの方に音楽に興味を持ってもらいたい」と思い、鹿屋でフルート教室を開きました。

教室の名前はドイツ語の「Klang」です。日本語では「響き」という意味で、留学中に先生からよく言われていた言葉です。今では、私が生徒に「響き」のある音がつくれるように指導しています。

それから、鹿屋・大隅に限らず県内各地での演奏依頼も受けずることになっています。なるべく多くの皆さんに音楽と出会ってもらえるように、レストランやホテル、学校や病院など、色々な人が集まる場所で演奏しています。以前の職場の関係からも依頼があり、過去の出会いが今でもつながっていることに感謝しています。

最近では、ハーブとのデュオ、フルートアンサンブル、室内楽、そしてジャズやボサノバ等、さまざまな音楽家の皆さんと一緒に演奏しています。新たな音楽と出会うことで、次のステップアップへとつなげ、音楽の幅も広がっていきたくです。

今後は、自分自身が音楽家として成長しながら、多くの皆さんに音楽を日常の身近なものに感じてもらえるように、そして、音楽を通じて皆さんの人生がより深いものになることを願って、活動していきたいです。

FMかのや(77.2MHz)
8月22日(月)9時5分から
宮内 美歩さんが出演(予定)



今回の報告者
新美 了 隊員

かのや活動レポート

vol.11

7月中旬にシンガポールで行われた日本食の商談会に参加し、かのやカンパチ、深蒸し茶、紅はるかの商談を行ってきました。英語、日本語を交えながらの商談でしたが、何とか複数社との商談をまとめてきました。

品質については、現地の飲食店オーナー、バイヤーから予想以上の評価をもらい「海外で戦える商材」だと感じました。国内需要が減る中で、産地として海外をどう攻めるかは喫緊の課題です。海外への仕掛けが将来の需要を作り出すと考えていますので、今後も積極的に活動したいと考えています。



Present

応募×切 9/9金

当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。



あしたのおやつ 4種セット/
3名様
農業生産法人 株式会社オキス
鹿屋市下高隈町5455-6

フルーツや野菜を砂糖を使わずに真空フライした「フルーツチップス」(1)と「ベジタブルチップス」(2)、鹿児島産さつまいもを油を使わずに2種類の風味に仕上げた「さつまいもスティック」(3・4)の計4種をセットにして3名様にプレゼント!

お便り&メッセージ

✕キリトリ線

ご協力ありがとうございました。

ご応募の際にご記入いただきました個人情報は、抽選・賞品引換券の発送・アンケート統計以外の目的で使用することはありません。

男女短期スタッフ大募集

■募集職種.....
●職種/菓子製造作業員
《仕事内容》さつまいものカット、機械への投入選別、コンテナへの積み付け、作業後の清掃等
●雇用期間/8月下旬～11月30日
●職種/包装ライン作業員
《仕事内容》選別、包装、梱包作業、作業前後の清掃等
●雇用期間/9月1日以降～12月末

■その他条件.....
◎応募資格/健康で体力のある方、未経験者大歓迎。小さなお子様がいるスタッフも多数在籍
◎就業時間/8:00～17:00(休憩60分) ※1日1時間程度の残業有り
◎休日/日曜・他 ※当社カレンダーによる
◎その他/制服貸与、時間外手当通勤手当
◎応募方法/先ずはお電話下さい。面接時は履歴書(写真貼付)をお持ち下さい。

共通 時給/ **850円**
★月収16万円以上可能

その他フォークリフト・4t運転スタッフも募集しております。ご相談ください。

かのや交通株式会社

貸切バスのご案内
デラックスバスで
優雅な旅行を

私たちのモットー！
大切な命を守る仕事



こんなとき貸切バスが便利です!!
クラブ活動の遠征や社会見学、社員旅行、研修旅行、グループ旅行に、結婚式、葬祭送迎、イベントの貸切送迎に!!

〒893-0037 鹿屋市田崎町2813-4
TEL (0994)41-0097
FAX (0994)41-0003



澁谷食品株式会社 九州工場

鹿屋市串良町細山田3403【担当:荒木】TEL0994-62-3867

公益社団法人いちょうの樹

メンタルホスピタル鹿屋

電話: **0994-42-3155** 鹿屋市田崎町1043-1
<http://oosumi-hp.jp/>

認知症に関するご家族のお悩みがあれば、お気軽にご相談下さい。

鹿児島県指定 認知症疾患医療センター
認知症疾患専門相談 電話: **0994-36-1870**



おの鍼灸整骨院

☎: 0994-41-1149

健康保険適用できます

平日/9時～12時 15時～19時
土曜/9時～17時/日曜:休
鹿屋市西原4丁目10-15-1 院長 小野良太郎

ご予約優先 駐車場有り



皆様の「あったらいいな」を
かたちにしました!

費用を抑えながらも
充実内容のプラン

http://ikedasousai.jp

通夜・葬儀もきっちり行い、必要なサービスもすべて含んだ家族葬のプランをご用意いたしました。

掲載広告募集中

鹿屋市内 全戸配布
広報かのや

お気軽にお問合せください。
広告枠数は限りがあり申込み順での掲載となります。
掲載ができない場合は予めご了承ください。



親戚や友人を
交えて送る **家族葬**

158,000円 (税別)より

通夜・葬儀でのお食事や飲み物をはじめ、供花・供物や
お返し物の持ち込みも当社では無料です。

株式会社 **総合印刷** 〒893-0061 鹿児島県鹿屋市上谷町4-6
E-mail: info@kanoyasogo.co.jp

TEL (0994) **43-2093** FAX (0994) **44-3737** かのや総合印刷 検索

●家族葬のご依頼・ご相談は

池田葬祭 ikeda sousai

0120-269-556
鹿屋市王子町3967-3(バイパス沿い)

365日 24時間 受付!

ことぶき 中央斎場 鹿屋市寿4丁目1-18 (マックスバリュ寿店前)

にしはら 中央斎場 鹿屋市今坂町12403-9 (マックスバリュ西原店前)

事前のご相談からお葬式・葬儀後まで
「すべてを任せる安心」をお約束いたします。



家族葬の池田屋 24時間対応 ☎0994-44-4440

株式会社 Ligare 田崎斎場 田崎町108
バイパス斎場 鹿屋市大浦町14042-8

広告のひろば

(株)総合印刷
☎ 0994-43-2093

広告のひろばは、各事業所の広告を掲載することで、市民の皆さんへの情報提供を目的としています。また、市の自主財源確保の一環として行っています。
広告に関するお問い合わせは、印刷会社、市政推進課になります。
お気軽にお問い合わせください。

平成28年8月12日発行 No.255
(通常版13日・お知らせ版28日発行)
発行/鹿屋市 編集/市長公室政策推進課

鹿屋市役所 鹿屋市共栄町20番1号 ☎0994-43-2111
鹿屋市総合支所 吾平町3317番地 ☎0994-58-7111
鹿屋市総合支所 輝北町上百引3914番地 ☎099-486-1111
鹿屋市総合支所 串良町岡崎2081番地 ☎0994-63-3111